

図書館だより

No.57

令和6年7月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

図書館ホームページアドレス <https://lib.city.irusa.saitama.jp/>



かわいそうな本たち……

入間市立図書館には、約58万点の資料がありますが、中には、破れたり、濡れてヨレヨレになったりして返ってくる『かわいそうな本』たちがあります。

図書館の本は、みんなの財産です。『かわいそうな本』にならないように、ていねいに扱いましょう！

水濡れ

本にとって、水は大敵です。紙がしわになったり、カビが発生したりします。雨の日やペットボトル等の結露には要注意です。



切り取り・破れ

雑誌や新聞も図書館の資料です。わざと破いたり切り取ったりするようなことは絶対にしないでください。



ふせん紙

粘着力の強いものは、ベタベタが本に残ったり、破れたりします。



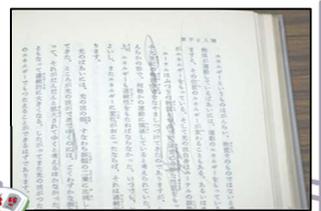
高温

本は高温や直射日光が苦手です。歪みの原因や、糊の劣化につながります。暑い自動車内や、窓際に置いたままにしないでください。



書き込み

すでに読んだものと区別するためか、隅っこに小さくしるしをつける書き込みも、多数見つかっています。図書館の本への書き込みは絶対にやめてください。



折れ

しおり代わりに端っこを折り返さないでください。借りている間だけの目印のつもりでも、一度折れた跡はもう二度と元には戻りません。

ニオイ

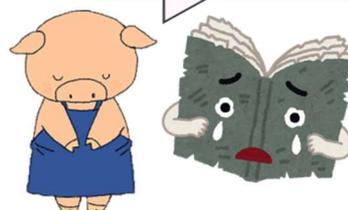
強いニオイが染みついたり返ってくる本もあります。様々な方法で除去を試みますが、どうしても取り切れないものもあります。



この他にも、『かわいそうな本』はたくさんあります。

より多くの方に、より長い期間、より気持ちよくご利用いただくために、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

セロハンテープでの修理や食べ物・飲み物の汚れも絶対にNG！



図書館利用教室・施設見学を行っています

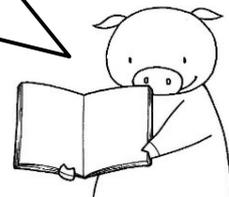
入間市立図書館では、図書館を身近に感じてもらうために、小学2年生・3年生を対象に「図書館利用教室」と「図書館施設見学」を実施しています。
既に実施した学校ではみんな熱心に話を聞き、積極的に質問してくれました。

施設見学では

小学3年生の児童たちに図書館に来てもらい、実際に図書館の中を見て回りました。普段は入れない書庫や作業室の見学もしました。

利用教室では

小学2年生の教室で図書館職員が図書館はどんなところなのかを説明しました。
本を身近に感じてもらうために、絵本の読み聞かせも行いました。



読み聞かせボランティアグループの広場

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループのどんぐり（本館）・かざぐるま（西武分館）・おはなし円（西武分館）・茶の花（金子分館）・トトロ（藤沢分館）です。

各グループより、最新情報をお届けします。

どんぐり 毎月第3火曜日の定例会では「よみきかせのきほん」（東京子ども図書館編）より本を選び、読み合い、おはなし会の参考にしています。6月には図書館職員から新刊を紹介してもらいました。新しい本との出会いは、新鮮で興味津々です。そして、子ども達とも楽しみを一緒に共有したいと思います。

かざぐるま 4月からは土曜日に加え、第1と第3日曜日（10：30～）にもおはなし会を行っています。7月には「夏のおたのしみ会」でちょっと怖いおはなしの読み聞かせがあります。お楽しみに。

おはなし円 まどか とても小さい子のためにペープサートを使っておはなしをしたり、手品をしたり、ストーリーテリングの会ですが色々やっています。時にはおはなしの途中で「へー」とか「ワー」などの声が入り、語り手の方も調子に乗ってはなせませす。子ども達に助けられ、元気をもらいながらのおはなし会です。また来てください。（西武分館にて毎月第1土曜日10：30～11：00）

茶の花 今年「茶の花」は、20周年になります。読み聞かせの先輩である古川先生の講座から始まり、それからの仲間は4人になりました。今は、12人で活動しています。

「ひとはなくもの」（みやのすみれ作・やべみつのり絵／こぐま社）を読み聞かせした時のこと。読み終わったとたん「ぼく、なかなかいよ！」と声があがりました。思わず「ぼく、強いね！」と声をかけてしまいましたが、本当なら「泣いたっていいんだよ」と言ってあげればよかったです。最近では、男性アスリートが涙するのも普通になっています。心を外に出すのは、とても精神衛生上良いことですよ。

トトロ オススメの絵本を紹介します。『おきにいりのしろいドレスをきてレストランにいきました』（渡辺朋作・高島那生絵／童心社）という絵本です。擬音だらけなので、赤ちゃんから大人まで楽しめると思います。ががががーん、げげげげーん、ぞぞぞぞーん、皆さんも声に出してみてください。笑顔になれますよ。おはなし会では、透ける布を使って、わらべうた「じーじーばー」をしました。赤ちゃん大喜びでした。皆さん、お越し下さいね。



大人のためのBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『すうがくさんぽ』

前田 まゆみ／著 あすなろ書房 <410.4/M>

“数学”と聞くと、複雑な数式やら公式やらが並んでいるイメージで、なんだか意味が分からないと思われる方もいることでしょう。この本は、そんな数学の世界を、絵本作家でもある前田まゆみさんのあたたかいイラストと読みやすい文章で綴った、読んでみるとまさに数学の世界を楽しく散歩しているような気持ちになる1冊です。

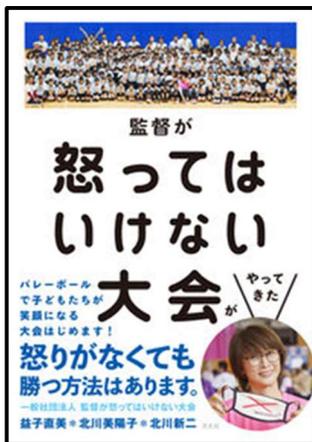
数学が好きな方はもちろん、数学が苦手な方にも、物事の新しい見方を知るきっかけになるとと思います。

『神と妖怪の防災学「みえないリスク」へのそなえ』

高田 知紀／著 法律文化社 <369.3/T>

巨大地震や暴風雨などの自然災害に対し、民俗学の観点から知見を提示している本です。神や妖怪を用いた多様なワークショップの実例や、地域住民の防災に関する様々な取り組みから、災害に備える大切さはもちろん、コミュニティの重要性がよく理解できます。

図表や写真も多く掲載されており、読みごたえのある1冊です。



『監督が怒ってはいけない大会がやってきた』

監督が怒ってはいけない大会／著

(益子 直美、北川 美陽子、北川 新二) 方丈社 <783.2/K>

子どもたちにとって「バレーが楽しい！」と思える大会は作れないか。

バレーボール元日本代表の益子直美さんを中心としたメンバーによる『監督が怒ってはいけない大会』が発足して9年。子どもたちのスポーツ環境はどうあるべきかを問い続けた活動の様子が詳細に描かれています。豊富な写真から、子どもたちがスポーツを楽しむ表情や、大会の雰囲気を感じてみてください。怒る指導を除くと、子どもたちがどう変わるかが分かります。

『吹奏楽作品世界遺産100』

伊藤 康英、鈴木 英史、滝澤 尚哉／著 音楽之友社 <764.6/S>

吹奏楽と言ったらこの曲！と言えるような曲が多数紹介されています。昔から吹き継がれているような曲から最近よく耳にするようになった曲まで、紹介されている曲は多岐に渡ります。吹奏楽に関わっている方ならきっと聞いたことがある、吹いたことがあるという曲もあるのではないのでしょうか。また、吹奏楽に関わってなくてもタイトルに覚えがある曲があるのではないのでしょうか。一曲一曲についてより深く知り、吹奏楽の世界を楽しむことのできる1冊です。

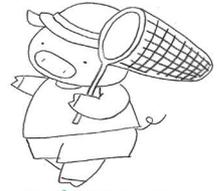


新着資料もたくさんあります。各館の新着コーナーをご覧ください！
新刊だけでなく、寄贈でいただいた資料なども並びます。



こむすっく 子ども向けBookガイド

～図書館職員のおすすめ本を紹介します～



『ぼくはうそをついた』

にしむら すぐり／作 なかしま かのえ 花野／絵 ポプラ社 <<913/にしむ>>

だれかが「にげろ」とさげんだ。

リョウタは何からにげればいいのかかわからず、立ちつくしていると、「ヘロウばあ」にうでをつかまれてしまう。ヘロウばあはリョウタより一学年上のレイのひいおばあちゃん、夏が近づくと原爆で亡くした息子を探しておかしくなってしまうらしい。

原爆を直接体験した祖父に話を聞いたあと、リョウタは自分の目でヒロシマを見に行くことにした。最後にリョウタがついたうそとは…。



『せっけんアワー』

かねこ まき／作 ぶんけんしゅつぱん 文研出版 <<ふ9>>

おふろのとびらがしまったあとで、せっけんのあわがぶくぶくもこもこ。

おおきくなったあわは“ぬう～ん”とそとへとびだしました。

空をぶかぶかうかぶあわは、犬やはくちょう、いろんなかたちにだいへんしん。

おともだちのあひるといっしょに、いったいどこへいくのかな。

あわのゆくえにみんなの目がくぎづけになっちゃいます。



『こんなときどう言う?事典』

さいとう たかし ちよ 齋藤 孝／著 サンマーク出版 <<361>>

仲間に入りたい! 教えてほしい! といった、自分の気持ちを伝えたいとき。

話が續かない、上手に説明できない…といった、うまく話ができないとき。

こんなとき、どう言う?

いろいろな場面に合わせた言い方と考え方を、イラストと一緒に紹介しています。

仲よくなる力は一生大切なモノ。人生最大のスキルです。

正解は1つじゃない! 気を使って、なかなか言い出せないこともあります。

自分の性格にあわせて、ムリなく気持ちを伝える方法を考えてみましょう。



ティーンズ向け

『希望のひとしずく』

キース・カラブレーゼ／著 代田 亜香子／訳 理論社 <<Y 933/カラブ>>

オハイオ州にある小さな町には、昔、願い事を叶えてくれる伝説の井戸があった。今では誰も訪れないし、その存在も忘れられかけている伝説の井戸。その井戸を見つめようと探していた少年たちは、何故か井戸の底にたどり着き、人々の心からの願いを聞いてしまう。「何も出来ないのはわかっているけど、でも何か出来ないだろうか」一歩だけ踏み出す勇気と諦めずに続けていく心。そんな思いやりの連鎖と優しさの累積したパワーを貰える小説です。

